



広島女学院同窓会 東京支部ニュース

編集・発行 東京支部役員会

2012. 06. 01
第 59 号

今年度の聖句

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。
そうすれば、開かれる。誰でも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

ルカによる福音書 11 章 9-10 節

人間の罪と神の救し

四 電 揚 日本キリスト教団 隠退教師



大地震、大津波の災害に加えて原発からの「放射能漏れ」が起こり、被災地の方は未だに何重もの苦しみを味わっています。女学院の同窓会が原爆の犠牲者 350 名を覚えて 25 回の追悼礼拝を続けてこられたことに対し、心から敬意を表します。生き残った人の多くのものが心の闇の中に閉じ込めておきたかった焼け跡や、大津波の後の惨憺たる瓦礫の山のシーンに遭遇する度にいつも繰り返される深刻な問いは、「なぜあの人が亡くなって自分が生き残ることができたのか」と言う問題です。

石原慎太郎都知事は「天罰」という言葉を不用意に使って物議をかもしました。ジャン・カルヴァンは「神の予定」を論じるとき、これは私達が神の座に立って、救われる者と滅びゆく人を眺めるような関わり方ではなく、あくまでも救われた者の側からの一方的な信仰の告白としてなされるべきだ、とのべています。「予定説」は滅びゆく者については言及していなくて救われた側の者の、感謝の告白なのです。これは聖書でもはっきりした答えの得られないまま提起されている問題です。執拗

に神の義を問い続けたヨブは嵐の中から神に一喝されます。「これは何者か。知識もないのに、言葉を重ねて神の経緯を暗くするとは」と。(ヨブ 38:2)

いうまでもなく「原爆」は、敵対する者を抹殺しようとする戦争の極点に位置するものであり、人間の罪を大写しにするものです。一方「原発」は、「もっと豊かに」「もっと快適に」という自己絶対化をしがちな人間の罪の生み出したものです。その意味では両者共に人間の罪とそれに対する神の裁きの一端を示しているものといえるでしょう。ところが、聖書は明白な結論を出していません。

「そのガリラヤ人たちがそのような災難に逢ったのはほかのどのガリラヤ人よりも罪深いものだったと思うのか、決してそうではない。・・・またシロアムの塔が倒れて死んだあの 18 人はエルサレムに住んでいたほかのどの人々よりも罪深いものだったと思うのか。決してそうではない」そして「あなたがたも悔い改めなければ同じように滅ぼされる」と主は言われるのです。人類全体の罪に対する神の裁きとして受け止めねばならないことが示されているのです。ルカはそれに続いて「実のならないイチジク」のためにとりなしの祈りをする園丁(主イエス)の姿を伝えています。聖書は、生き残った者に負わされる使命について語ると共に、「イチジクを切り倒さないでください」とりなす主イエスのみ言葉を結論にしているのです。追悼礼拝が執りなしの主に結びつくことを祈っています。

全国代表者会議 報告

4月20日(金)に高校会議室で開かれた同窓会全国代表者会議に関東ブロック代表で東京支部長坂下 恵(杉田/文英1)と千葉支部長 村中陽子(砂川/高校27・文英9)が出席しました。



礼拝で小田部三恵子先生から「求めよ、さらば与えられん」と題するメッセージを頂いた後、昨年度の報告と今年度の計画が承認され、役員改選で新会長に副会長の大矢みどりさん(大矢/高23)が就任されました。(上の写真右端)

その後、各ブロックの活動報告を行い、幟町校地内の原爆死没者慰霊碑前で礼拝を行った後、牛田校地に新設された施設の見学に向かいました。

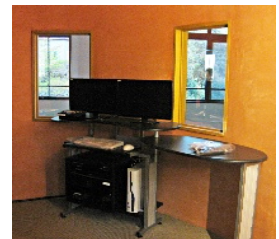


アイリス・インターナショナル・ハウス

大学校門横の旧幼稚園跡地に新築された“アイリス・インターナショナル・ハウス”は、宿泊、研修、交流等のための施設で、外観はシンプルですが、すてきな内装のリビングルーム、ベッドルーム、和室などを備えており、同窓生も利用できるということです。



また“障がい学生高等教育支援研究所”は、光風館を改装した施設で、隣人愛の観点から、障がいを持つ学生の教育支援の研究、生活支援、健康管理などを総合的に行うとのことでした。



長尾学長からは、国際教養学部で4年間英語だけの授業で学ぶ“Global Studies in English”というコースがあるというお話も伺いました。

ホームカミングデー

翌日の4月21日(土)には、リーガロイヤルホテルでホームカミングデーが開催されました。今年のテーマは、“CUM DEO LABORAMUS 現在(いま)、私たちにできること”。



クワイヤアイリスの演奏による同窓生の歌「どんなに時が流れても」で開会となり、続く礼拝では大学宗教部長の澤村雅史先生から「山を動かす」という題でメッセージをいただきました。



澤村先生は「宮城県の南三陸町に行って瓦礫の山に圧倒されたが、山をも動かすことができると信じて自らの手足を動かせば必ず山も動く。ゲーンズ先生も神の声を信じて歩みを進められた。」と語られました。



続いて、大矢新会長が古屋前会長の労をねぎらい、「同窓会は縦の繋がりがもすばらしい。母校を支えるために新しい出会いの場としてお楽しみください。」と挨拶されました。

メインの講演は小説家の平 安寿子さん（たいらあすこ・武藤多恵子／高23）の「若くないって最高」。現在59歳の平さん、開口一番、「女子校育ちは女子力が無い。男性の目を意識する必要がなかったからフェロモンが出ていない。」と厳しい言葉。その後も、ユーモアを交えながら、「何十年ぶりかで同級生に会うとみんな昔と同じ顔をしている。年齢を重ねると肉体的には衰えるが、精神的には開放される。人生



は思い通りにはならないが、今できることにチャレンジしよう。」「年を取っていく自分を笑いながらユーモア小説を書いていきたい。」と語られ、「ずうずうしくもおおらかなおばあさんになっていきましょう。」と結ばれました。



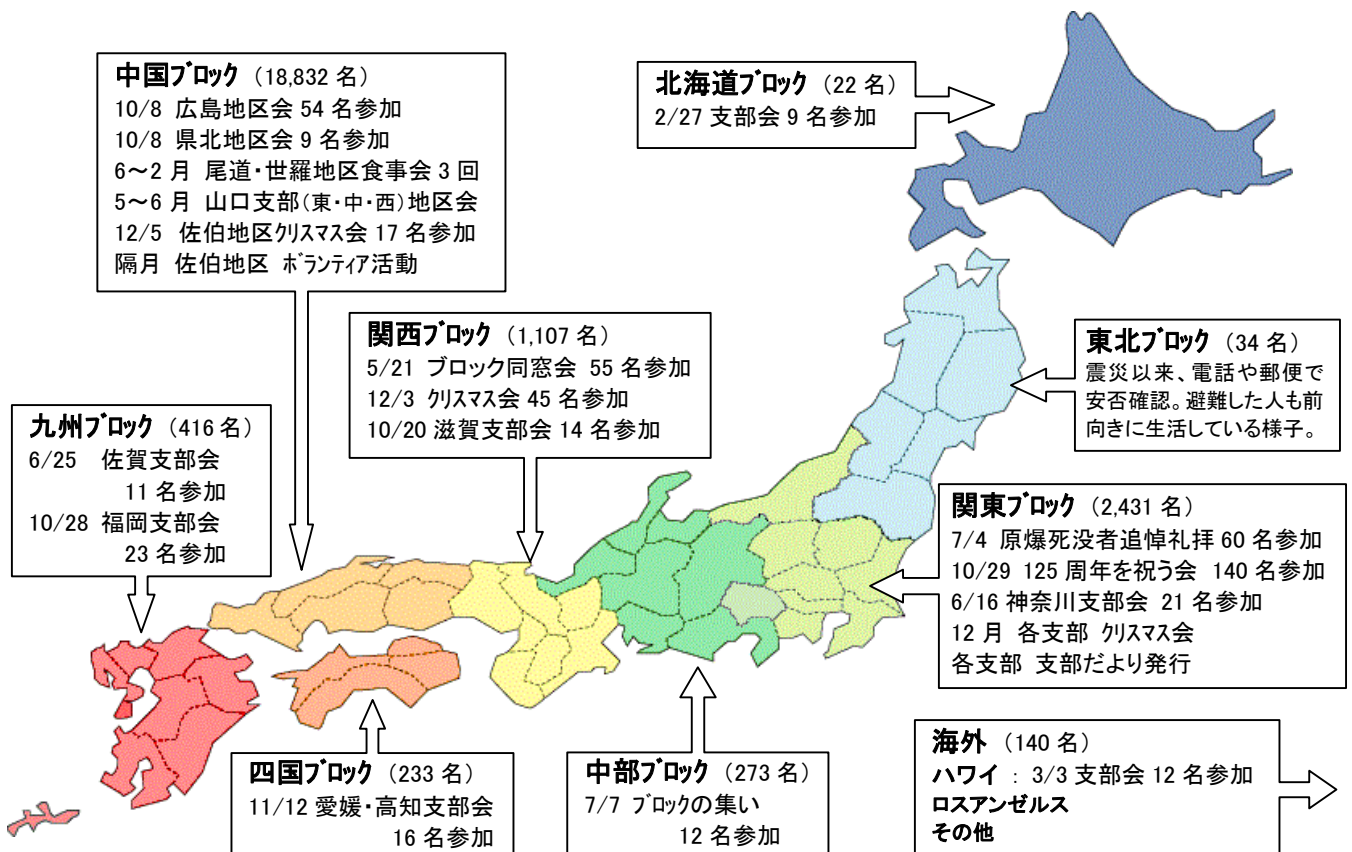
続いて、長尾学長よりパルチコフのバイオリンの紹介。パルチコフはロシア革命の際に日本に亡命したバイオリニストで、ゲーンズ先生が女学院に

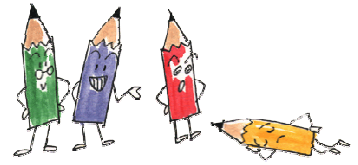
迎え入れ、1926年から17年間、音楽教師として教鞭を取った方。イタリア在住のマエストロ石井高さんの修理により蘇った遺品のバイオリンの音色を今井千晶さん（エリザベト音大大学院卒業）の演奏によるバッハの「パルティータ第2番」で聴かせていただきました。

その後、黒瀬理事長・院長の食前の祈りにより会食に移り、和やかな歓談のひと時を経て、校歌でお開きとなりました。300名近い参加者でした。

坂下 恵（杉田／文英1）

各ブロック昨年度の活動





向こう岸へ渡ろう

千代崎 満子 (白根／高33・文英15)

これは、イエス・キリストが弟子達にかけられた御言葉です。それで弟子たちは、イエス様と一緒に向こう岸を目指しました。「渡ろう」という言葉は、「渡れ」とは違います。もし、私が一人で船出させられるなら、不安と恐れがあります。しかし、神様であるイエス様が共に渡ってくださるのです。これまで私が祈りながらしてきた、「向こう岸へ渡る」経験の中から、大きな三つの出来事を書かせていただきます。

第一の「向こう岸」は「広島女学院」でした。「憧れの学校」で本当に行きたいと思いましたが、受験というハードルと、牧師家庭にとっては高価な学費の問題がありました。私にとって初めての大きなチャレンジでしたが、幼いながら祈り、晴れて素敵な制服を着ることができたのです。女学院では貴重な出会いがあり、ここでしか学び得ないことを多く教えていただきました。「ここで勉強できて本当に良かった。もし娘が生まれたらこの学校に入れたいね。」と友人と話したものです。大学の卒業式で広瀬ハマ子師が語られた「男性の真似をするのではなく、卑屈になることもない。あなた方には女性として、あなた方にしかできない働きがあるのです。」という力強いメッセージは今の私の基本姿勢になりました。



夏のバイブルキャンプで子供たちに賛美指導



第二の「向こう岸」は渡米です。大学卒業後、神学校に進み、私は牧師になりました。同じく牧師の主人と結婚、主人が米国で学ぶため、幼い娘を連れ、家族でシカゴに行きました。シカゴ近郊にあるアットホームで小さな教会の牧師職を主人が引き継ぎました。最初は本当に小さな集まりで、時には家族だけで礼拝を始めたこともありましたが、だんだん人数が増え、間借りしていたアメリカ人教会の日本語部として新しい働きを展開することができました。主人は学生牧師で週末のみ奉仕していたので、週日の働きは私が行いました。信徒さん宅で始めた聖書の勉強会が増え、毎日のように集会をし、やがて10人以上の方々が洗礼を受けられました。忙しい中での子育てや異国での出産、すべて英語で交渉しなければならないストレスなども経験しましたが、辛い中でも常に神様が共にいてくださることを感じていました。また、もし自分が苦しい経験をしていなければ、その後、寂しく悩んでいる人達、困難にぶつかっている人達の力にはなれなかったでしょう。多くの人の悩みを聞き、彼らが日本に帰国後、キリスト教に対し心を開いてくれることを願いつつ心をこめて具体的なお手伝いをしました。

一方、アジアから来た留学生の奥さん達と接する機会も多くありました。私が広島出身であることを話すと、自分たちの痛みを理解してくれると思われたのか、それまでタブーであった戦争についての話が始まり、「正しい歴史を学んでほしい。」と彼らは訴えてきました。娘が通っていた学校では真珠湾攻撃のことを学び、冗談半分で「悪い日本人」と呼ばれたこともあったようです。「原爆投下は必要だった」と正当化する人が多いアメリカで、広島出身者として様々なことを考えさせられました。「被害者」「加害者」を言い出せば、終わりのない争いになってしまいます。私たちが事実をしっかりと受け止め、さらに進んで、和解の道を共に歩めるようにと願われました。

第三の「向こう岸」は今遣わされている教会です。帰国後広島に帰郷すると、10年ぶりの広島は大分変わっており、逆カルチャーショックに陥りました。リハビリしながら7年間、母教会である広島キリスト教会で副牧師として奉仕しました。帰国時、長女は6年生、次女は1年生で、長女は友人もできず、一年間は辛い毎日でしたが、この経験が彼女を

「女学院に行きたい」という願いと決意に導きました。娘の進学準備をしていた時、昔友人と話したことを思いだしました。「娘が生まれたら、女学院に」という話です。娘は広島女学院で良い友人に恵まれ、充実した6年間を過ごすことができました。心から感謝しています。

ところが2009年の春、慣れ親しんだ広島を離れ、教団からの任命で東京都三鷹市にある池の上キリスト教会に行くことになりました。本心では、引退間近の両親を助けたい、広島に留まりたい、と強く願いましたが、「向こう岸へ渡ろう」という聖書の御言葉に導かれ、後のことも神様に委ね、新しい土地に踏み出しました。池の上キリスト教会では、教会学校での子供の教育、スタッフの教育、家庭集会でのメッセージを担当しています。そして確かに「向こう岸」に、主イエス・キリストが共に渡ってくださったことを感じています。これからも、嵐の中、向こう岸に渡らなければならないことがあるでしょう。しかし、困難があっても、共におられる主イエスが必ず「向こう岸」へ渡らせて下さることを信じて、働きを続けていきたいと思います。

女優たちによる朗読

「夏の雲は忘れない」

～ヒロシマ・ナガサキ 1945年～

出演：高田敏江、長内美那子、柳川慶子
大森暁美、岩本多代、日色ともゑ

あの日のことを多くの人に伝えたい。
67年目の夏。
あの日、ヒロシマ・ナガサキが遺した
いのちを見つめた言葉たち。

2012年7月4日(水) 18:45～20:30 (開場 18:15)

タワーホール船堀 5F 大ホール

江戸川区船堀 4-1-1

都営新宿線 船堀駅(北口)前

2500円(大人)、1000円(小・中・高生)・全席自由席

主催：夏の雲は忘れない実行委員会 in 江戸川
事務局 TEL 03-3674-2505



「いちばんわかりやすい俳句歳時記」

白井京子（現・瀧口）高23、文英5

■三月に主婦の友社より、わが俳句結社主宰の辻桃子著「いちばんわかりやすい俳句歳時記」（二五〇〇円）が出版された。現代の生活に即した四季折々の新旧七千季語が収録されている。江戸の名句から最新のものまで、お手本になる例句が満載ということで、「童子」同人の私の俳句も、たくさん載せてもらっている。その中から、春の季語をいくつか。

P. 39 春の虹・・・明るく春に出る虹。その年初めての虹は初虹という。

やはらかきギブスに替はり春の虹 白井薔薇

P. 49 菜飯・・・青い小松菜や、大根葉、あるいは漬けたんだ高菜などを細かく刻み、飯にまぜ込んだもの。

菜飯なり黄色き花のまじりたる 薔薇

P. 52 芝焼・・・土手や庭先の枯れ芝、枯れ草を焼くこと。

芝焼の果てあたたかき吾の肌 薔薇

わかりやすいし季語の数も多いので、これから俳句を始めようという方に読んでいただきたいです。

■一度は行きたいと思っていた伊勢参りをしてきた。

伊勢参りして行く春を惜しみけり

薔薇



伊勢神宮の境内にある池には、大きな鯉が悠々と泳いでいた。

行く春や木片またぐ鯉の背な 薔薇

水の上の奉納舞台初蝶来 //

正装のサラリーマン、しかも社長、専務、取締役といった

風情の人が、団体でお参りしている姿が目立った。

正装の一団くずれ花曇 薔薇

花過ぎの電車に人のまばらなる //

たまたま知り合った地元の人に、伊勢神宮の内宮、外宮は、天皇陛下のような方がお参りするところだから、そんな軽装で行っちゃあ、本当はダメなんだよ。（ああ、それで、正装の人が多いいんだ。）われわれ地元の人が行く内宮、外宮に行かないやということで教えてもらって、内宮の隣にある「月読宮」、外宮の隣にある「月夜見宮」にもお参りした。

氣を集む月読宮や春の夕 薔薇

■魚島という季語をご存知でしょうか？

鯛や鰯が産卵に押し寄せ、海面が盛り上がって島のように見えること。それを漁船が取り囲み、漁をするので豊漁になるという目出度くて春らしい、私の大好きな季語だ。伊勢参りのあくる日、二見浦の夫婦岩に足を伸ばした。よく晴れた日で、本当に海面が膨らんで見えた。まさに魚島時の海を満喫した。

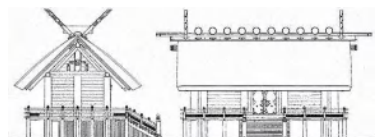
魚島の大鯛得たり旅路来て 水原秋桜子

魚島の瀬戸の鷗の数知れず 森川暁水

皆様からの投句をお待ちしています。

俳号 白井薔薇（しらい とうび）

俳句結社「童子」同人、日本伝統俳句協会会員
テレビ東京「サブちゃんと歌仲間」に出演中



同窓生の専門家による講座 第1回



夏バテを防ぐ薬膳



講師：飯田和子さん（岡田／短大28）

飯田さんは、2009年に（株）wa-onを立ち上げられ、
「あなたの暮らしに“ちょっとプラス”を考える会社」として、
食育や薬膳の講座を開催されています。
今回は、夏バテを防ぐ薬膳のお話です。
お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

身体に良いものを
おいしく食べて
夏を乗り切りましょう！

すぐに活用できる
レシピをご紹介します！

お子さん連れも
歓迎!!
「食育」のお話も。

日 時：2012年 7月28日(土) 午後1時30分～3時30分

場 所：銀座教会 福音会センター 会議室

中央区銀座4丁目2-1

東京メトロ 銀座駅下車（C7出口を出ると目の前です）

参加費：500円（資料、薬膳のお茶・お菓子代）

申込み：TEL / FAX 03-6760-6322 滋野(しげの)

※ 切：7月21日(土)・・・お早めにお申し込み下さい。

会費(2000円)の納入に ご協力をお願いします

今年度の会費が未納の方に振替用紙を同封しています。

銀行振込もご利用いただけます！

三菱東京UFJ銀行 高田馬場支店
普通預金 0473771
広島女学院同窓会 東京支部

※振込みの際、お名前の後に電話番号を入れてください！

三菱東京UFJ銀行のキャッシュカードなら
コンビニ（セブン銀行、ローソンなど）の
ATMで、平日の日中は振込料が無料です。
ネット振込みも便利です。

編集後記

- * 「夏雲の集い」で山本學氏に詩の朗読をして頂ける事になりました。長尾学長もいらして下さいます！（S）
- * 薬膳の講座、初めての企画です。奮ってお申し込みくださいね。お待ちしております。（J）
- * 会費の銀行振込の口座番号は封筒にも印刷してあります。まだの方はご利用下さい。（M）
- * 振替用紙をご利用の際は、通信欄で近況などお知らせ下さい。（S）

2012 夏雲の集い

関東ブロック主催

～ 原爆死没者追悼礼拝 ～

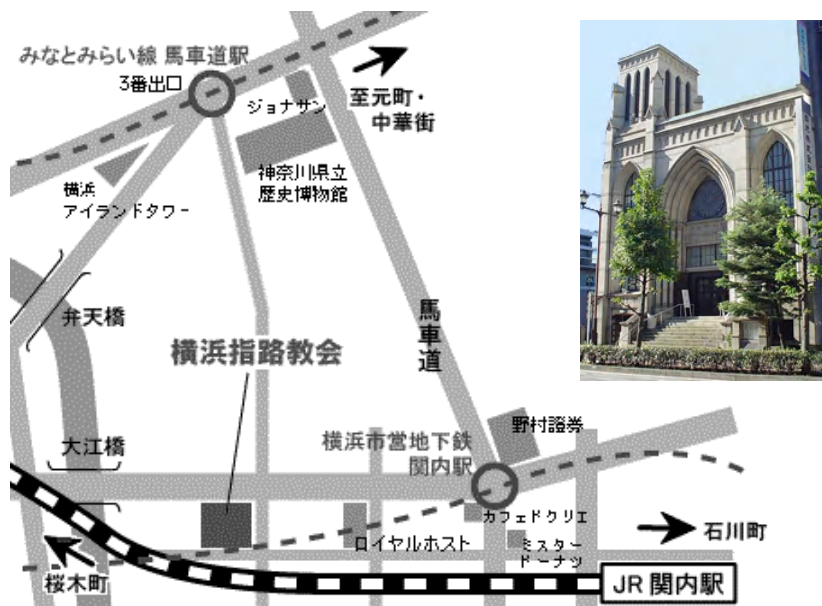
2012年7月5日(木) 13:00～15:00

日本基督教団 横浜^{しろ}指路教会

関内駅(JR根岸線、横浜市営地下鉄線)下車 徒歩5分

- 第一部：追悼礼拝・説教 藤掛順一牧師(横浜指路教会)
第二部：詩の朗読 山本 學 氏
第三部：長尾学長のお話・茶話会

関東ブロックでは、母校での350名の犠牲を追悼し平和に向き合う集会として、「夏雲の集い」を1988年から毎年開催しています。
今年は、俳優の山本學氏に原爆の詩を朗読して頂けることになりました。山本氏は、「夏雲の集い」の提唱者である故山本知子(秦)先生のご主人で、ビデオ「夏雲～逝きしものへのレクイエム」では、ナレーションを担当してくださいました。今も「夏雲の集い」が継続されていることを喜ばれ、詩の朗読は、自らご提案頂きました。長尾学長もご出席くださいますので、大学の近況についてのお話が伺えます。



横浜指路教会はヘボン式ローマ字で有名な宣教医 J.C. ヘボン (James Curtis Hepburn) 夫妻を中心とする人々によって設立され、ヘボンの母教会 "Shiloh Church" に因んで「指路教会」と命名されました。「しろ」は旧約聖書において、「平和を来らす者(メシヤ)」、および「古い時代の聖なる町」を意味するとのこと。現在の教会堂は関東大震災の後に再建されたもので、外観はゴシック風。礼拝堂は白と赤を基調としたシンプルで明るい雰囲気。高い天井に響くパイプオルガンの音色を聴かせて頂けるのも楽しみです。